

ぼらっと

『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。



発行元

〒020-0541 粟石町千刈田82-2

粟石町総合福祉センター内

粟石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp

http://www.shisha.or.jp/

社協のBlogもチェックしてネ!



粟石町スノーバスターズ 今年も出陣!



年末から雪が降り積もった一月四日(土)、新年早々に平成二十五年 度粟石町スノーバスターズの出陣式が町総合福祉センターで行われました。



ケガや事故には、十分に気を付けて。

出陣式当日は、スノーバスターズ隊員、粟石中学校と粟石高等学校の学生ボランティア、粟石町役場有志など、約四十名が集合しました。

粟石町スノーバスターズの無償巡回訪問は、平成五年から開始し、ボランティアの方々の協力を得て、一人暮らし高齢者や夫婦高齢者世帯、虚弱高齢者世帯を対象に雪が多く降る一月か

ら二月にかけ、毎週土曜日(十三時~十五時)高齢者の見守り、安否確認を中心に、玄関先の除雪を行うものです。

出陣式の中で、粟石町スノーバスターズ代表の川村貢さんからは、「事故が起きないようにお互い気を付けて作業しよう」と隊員に呼びかけ激励。出陣式後、学生ボランティアの皆さんは町のマイクロバスに乗り込み、一般隊員さんや役場有志の方々は各車両に分かれて、対象者約六十世帯を一軒一軒パトロールしました。



主に玄関前をみんなで除雪します。

パトロール先では、ボランティアの皆さんに「ありがとう。声をかけ

られると元気になるよ。」など感謝の言葉をかけていただき、対象世帯の高齢者の皆さんから大変喜ばれています。



入り口を塞ぐ屋根から落ちた雪も力をあわせて除雪します。

また、高齢者の方々にとって寒くなる冬期間は、なかなか外に出る機会や、人と接する機会が少なくなります。隊員の皆さんとの、「今年も、バスターズで回ってきましたよ。元気で来たか?」「また、来週も来ますので、無理しないでくださいね。」など声掛けを楽しみにして待っています。このような事から、スノーバスターズは除雪だけでなく、高齢者の方々を冬期間一人に

しない見守り活動としての役割を担っています。実際、パトロールに伺うと「親戚の方や隣の方が除雪してくださってました」という報告も多々あります。しかし、それはご近所や地域の方々との関わりができていて、普段からの「見守り」活動が行われているということですから、大変素晴らしい事だと思えます。バスターズと地域の方々が手を取り合って、高齢者の皆さんを守っていききたいものです。



丁寧に除雪していきます。

スノーバスターズでは、隊員を引き続き募集しています。

☆問い合わせ

町ボランティア活動センター

(692の2230)

澤口・武田・三城

年頭のご挨拶

年末から冷え込みが続き、寒さが続いておりますが、皆様、お元気で過ごしてでしょうか。「明けましておめでとございます。」と挨拶していた一月早々から、はや一ヶ月経とうとしています。

さて、昨年は八月九日雫石町を未曾有の豪雨が襲い、甚大な被害となりました。その復旧復興活動に際し、日本全国からたくさんの方々のボランティアの方々に活動して頂き、あらためて「人の力」の素晴らしさと、人と人との「繋がり」を実感した年となったように感じます。災害が起きてしまったこととは大変残念なことですが、雫石町の様々な場所で、「復興」という一つの目標に向けて団結することで、雫石町にボランティアの精神がより一層、浸透することとなったのではないのでしょうか。

本年も、皆さんにご協力いただきながら、より役立つ情報の発信やボランティアの皆さんの活動の様子を紹介し、ボランティア活動を、難しく考えるのではなく、無理なく出来ることを、出来る時間にしていただく活動としてお伝えできるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。



運転ボランティア



サポーター募集!

公共交通機関の利用が困難で、介助を必要とする体の不自由な高齢者等の通院等を支援していただける運転ボランティアサポーターを募集します。

- ★ 募集人員 若干名
- ★ 活動時間

平日、日中四〜五時間
(通院利用者により、時間に変動があります。)

- ★ 活動日数

週一〜三日程度

- ★ 年齢 六十八歳以下

ボランティアの達人 その25

今回は、「食食サービスポランテニア」の皆さんです。(以下、質問:Q 回答:A)。

Q 「食食サービス」の調理を行うにあたって気を配っていることは、何ですか?

A 衛生面には、とても気を付けています。手や調理器具の消毒はもちろんのこと、漬物や酢の物などは素手で調理しないようにしています。

Q 食食を配達し、利用者の方々の安否確認をする際に気を付けていることは、何ですか?

★ その他
通院に車両を使用する際は、社会福祉協議会の車両を使用します。

詳しくは、下記連絡先までお問い合わせくださいますよう、お願い致します。



連絡先
雫石町社会福祉協議会
☎ 692-2230
担当: 外村・渡邊



A 体調が悪くなってきたりかどうか、利用者の方々の様子や顔色など、気を付けて見るようにしています。また、お金の受け渡しの時に、物忘れが進んでいないかなど、気を付けるようにしています。

Q やりがいを感じることは、どんなことですか?

報告

ラジオ・チャリティ・ミュージックソン

十二月二十四日(火)に開催された「第三十六回IBCラジオ・チャリティ・ミュージックソン」で、募金していただいた皆さまからお預かりいたしました募金の金額は、「102,297円」となりました。当日、寒い中、募金して下さいました皆さまに感謝申し上げます。皆さまからお預かりした善意の募金は、IBC本社ラジオン事務局へ送金させていただきますました。ありがとうございました。



A 利用者の方々が待つてくれていて、「美味しいよ。」と言ってくれるときですね。

Q 冬期間、大変なことは何ですか?

A 雪の中、安全運転で配達することです。道路が雪でガタガタになっていると、配達する汁物の容器からこぼれてしまいます。利用者の方々は気持ちよく、美味しく食べていただきたいので、なるべく容器等を汚さないように配達しています。

編集後記

一月に入り本格的な寒さがやってきました。新年を迎え、心新たに町民の皆さまへ情報を発信していくことが出来るよう努めてまいります。(武田)

